

# みみをすます

芦屋翠ホーム



令和元年 12月発行 187

編集：横山 郷志

発行：芦屋翠ホーム

西宮市郷免町4-1

発行責任者：丸山 和幸

Tel：0797-25-7740

最近「秋」という季節がなくなったのでは…?!と感じるほど、「暑い!」といって半袖になれば、急に寒くなりコートや羽織る。木枯らし吹く日本の南で台風発生!温暖化のせいですかね?でも、土の中はまだそんな変化に対応できているのか、街の中にある私どもの事業所の片隅でサツマイモが収穫できました。毎日の利用者さんのお世話の成果だと感じて美味しくいただきました。

今回はサツマイモという形で成果物になりましたが、“絵”や“形”あるものに変えていく”福祉の世界では困難なことであります。このご時世、映像でみることも多くなりました。確かに「頑張っている!」という言葉よりラグビーの試合をテレビ観ていると、より応援したくなるほど、選手たちの頑張る姿がよりリアルに感じられますし、人の話しを聞くより You Tube をみる方がとても分かり易く伝わります。

障がいがある人たち、特に会話が困難な人たちの「ニーズ」これもまた“絵”や“形”にすることが出来れば、どんなに支援がスムーズに出来るか…思わず考えてしまうこともあります。それらを確認するために様々な経験をする場面(家族交流会・三田谷フェスティバル等)の中で、ご本人たちの様子を記録し、支援者は再度、振り返り、本当に「嬉しいこと」「嫌なこと」なのか明確にしていく。これらもハッキリとは“絵”や“形”で見えることばかりではありませんが、それぞれの持つ個別支援計画の大きな目標につながる大切な要素となります。単なる支援者の自己満足にならぬよう多くの関係者の意見も聞きながら利用者ひとり一人の将来の夢が“形”になれば…と願いつつ、今日も職員は利用者支援に勤しんでいます。

追伸：つい最近、原因不明の高熱にうなされ、完治まで1週間かかりました。見えない細菌・ウイルスにも気がつかないと…と思いつつ採血の結果が恐ろしく、未だ聞きにいかないまま放置している小心者です。(記：丸山)

## \*新人職員紹介\*



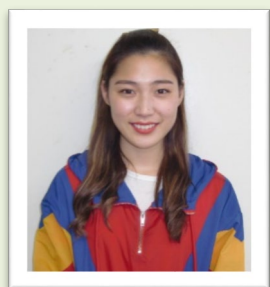
はまの たかし  
**濱野 崇**

利用者の方に満足してもらえるようなサービスを提供できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



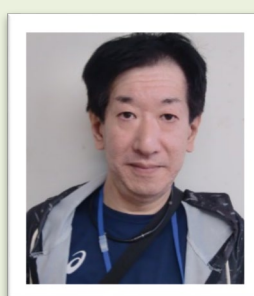
つちはし ゆき  
**土橋 由貴**

早く皆さんのお名前を覚えてお役に立てるよう頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。



やなぎだ わか  
**柳田 和香**

大学2回生です。生活の支えとなりながら皆さんと日々ここに過ごしたくさんの幸せと一緒に過ごしたいと思っています。



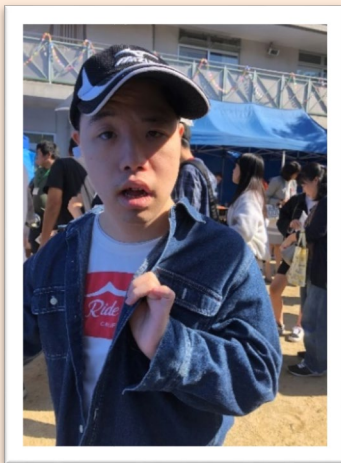
おかお こうせい  
**岡尾 康正**

9月から翠ホームの勤務になりました。毎日個性豊かな利用者の皆様と明るく過ごしたいです。



## \*三田谷フェスティバルご参加・ご協力ありがとうございました\*

先日 11 月 2 日に三田谷フェスティバルが実施されました。  
フェスティバルには保護者・地域住民の方々などたくさんの方が来園してくださり大盛況のうちに終了しました。  
ステージでの催し物や屋台の美味しい食事・アトラクションなど今年も来園して頂いた皆様や参加した利用者さんにとっても楽しむことが出来た一日でした。  
来年も皆様や利用者の方に喜んで頂けるフェスティバルにしたいと思っておりますのでご支援の程よろしく申し上げます。  
また今回協力して頂いたバザー、ボランティアの皆さまにも感謝致します。



## \*今月のトピックス\*



園芸活動で芋ほりをしました♪

### タオル寄付のお願い！

芦屋翠ホームの生活では顔や体を拭いたりするタオルが欠かせません。  
現在タオルの数が不足しておりますのでもしご家庭などで不要なタオルがありましたら芦屋翠ホームまで寄付をお願いします。

## \*編集後記\*

寒さも厳しくなる中皆様いかがお過ごしでしょうか？  
翠ホームの利用者の方はというと北館デイルームの床暖房に集まって暖かそうに床に寝転がっており私たち支援者もその姿に癒されています。  
2019年もあとわずかになりました。2020年も変わらず利用者の幸せのための支援を続けていきますので今後ともよろしく申し上げます。(横山)

